

新任教員紹介

New teacher introduction



立教大学大学院 特任教授

和田 芳明 教授

一橋大学経済学部卒、英国HULL大学経済学修士課程修了。日本銀行にてマクロ経済、金融機関経営の分析、XBRLの開発・普及に従事した後、NTT Dataにて、Big Dataの分析・利用に関する国内外のプロジェクトを担当。

和田先生の自己紹介と大事にしている価値観を教えてください。

日本銀行において、マクロ経済分析、金融機関調査、システム開発などを経験した後、2010年にNTTデータに転職して、ITスペシャリストとして勤務という、ちょっと変わった経歴です。この間、XBRLというコンピュータ言語の普及のための国際NGOの理事として、企業情報のデジタル化と、グローバルデータサプライチェーンの構築にも携わってきました。私の経験が、皆さんのお役に立てばと願っています。どうかよろしくお願いたします。

大切にしているのは、グローバルなヒューマンネットワークです。これまでの仕事を通じ、様々な国の方々と連携し、助けたり、助けられたりしながら、技術の開発と普及に取り組んできました。人的なネットワークの厚みが、困難なプロジェクトへ取り組むときにも支えになります。皆さんも、RBSでの出会いを大切に、人のつながりを深めていってください。

和田先生の専門の研究分野を教えてください。

いわゆるFintech、Regtech、Suptechという特に金融に関連するIoTが専門です。たくさんの研究者、技術者と協力して、IoTにより、社会の情報基盤の効率化を図り、持続性ある社会を作るのが目標です。

和田先生の専門分野に、昨今のコロナ禍の影響はどの様に関係してきていますか？

コロナによる人と人との物理的な接触の分断は、金融ビジネスの世界にも大きな影響を及ぼしています。端的に言えば、決済や取引情報の標準化、デジタル化が一段と進むと考えられます。その一方で、不正取引やマネーロンダリングなど、負の側面にも目を凝らしていかななくてはなりません。ビッグデータ、AIの活用など、時代の変化に合わせて、利用と監視の両面での技術に関する研究が進んでいくと思います。

RBSの学生へのメッセージをお願いします。

授業やゼミ、それから飲み会(?)等で、できるだけ多くみなさんと「ご縁」ができればうれしい限りです。よろしくお願いたします。